

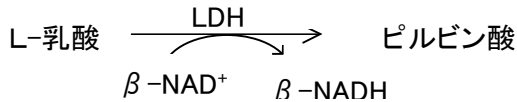
「セロテック」 LD-IF

IFCC標準化対応法(NMG緩衝液)

■特長

- ・IFCC標準化に対応した試薬組成です。
- ・直線性に優れています。
- ・共存物質は通常の濃度では影響ありません。

■測定原理



LDHはβ-ニコチン酸アミドアデニンジヌクレオチド酸化型(β-NAD)の存在下でL-乳酸をピルビン酸へと酸化する反応を触媒しますので、このβ-NADHの生成に伴う吸光度の増加速度を測定することによりLDH活性値を求めます。

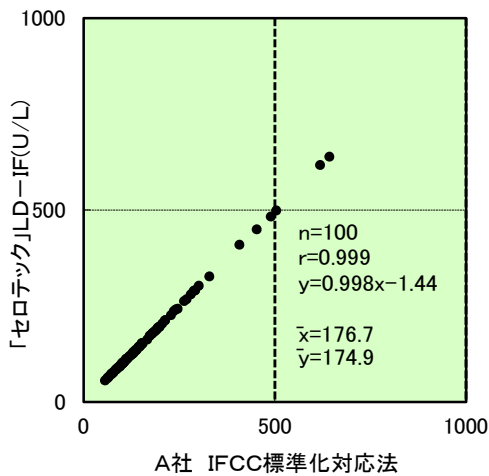
■測定条件(日立-7180の場合)

SAMPLE: 4.0 μL
 R- I : 160 μL R- II : 40 μL

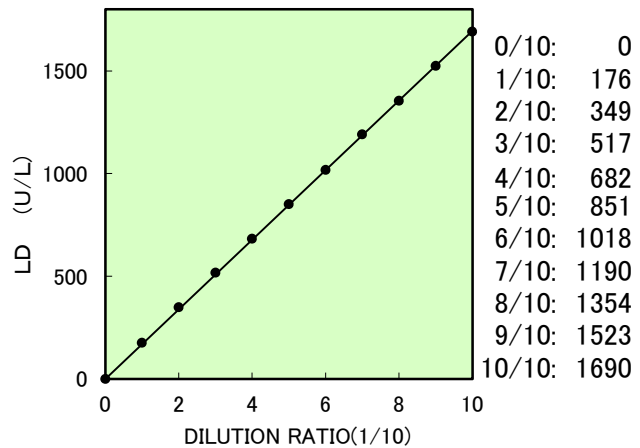
5.0 6.0 10.0(min)

分析法/測定ポイント: RATE-A 20-34
 波長(副/主) : 405/340
 反応限界吸光度 : 8000-増加

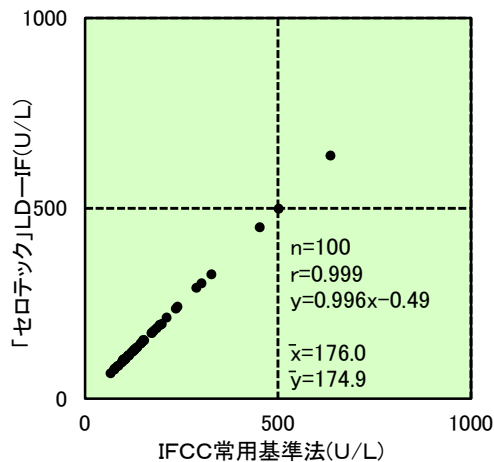
■相関(血清)



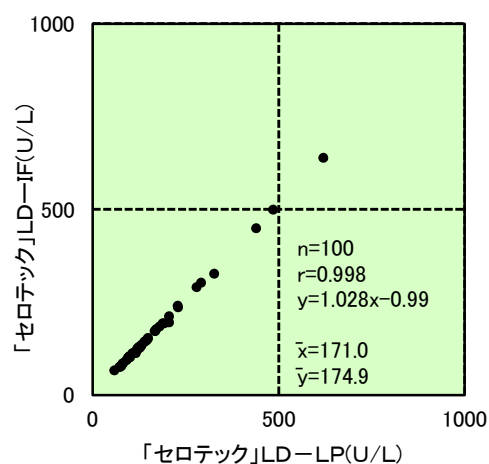
■直線性(LDH ヒト赤血球由来)



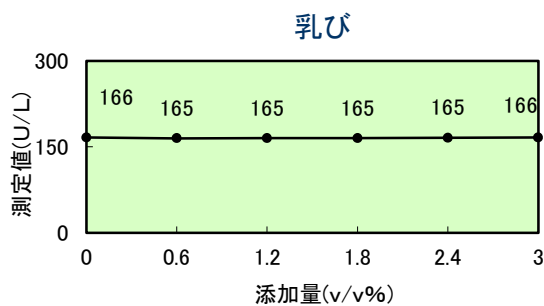
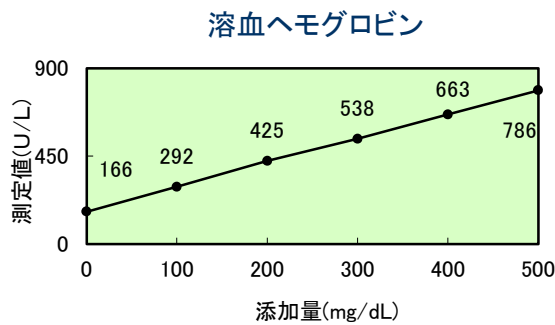
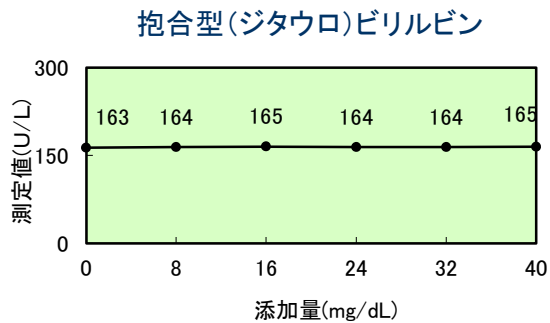
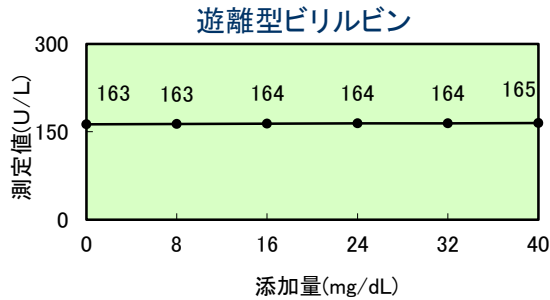
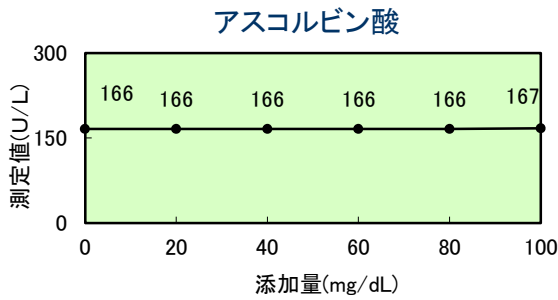
■相関(血清)



■相関(血清)



■ 共存物質の影響(血清)



■ 同時再現性

(単位:U/L)

	SERUM I	SERUM II
N	20	20
MEAN	123.3	338.4
MIN	122	336
MAX	125	341
R	3	5
SD	0.71	1.35
CV(%)	0.58	0.40

■ 包装

製品コード	製品内容	包装形態
A594-15	LD-IF (R-I)	60ml × 4
A594-27	LD-IF (R-II)	30ml × 4
A594-10	LD-IF (R-I)	80ml × 4
A594-20	LD-IF (R-II)	40ml × 4
A594-35	LD-IF (R-I)	160ml × 3
A594-40	LD-IF (R-II)	100ml × 3
A594-50	LD-IF (R-I)	350ml × 3
A594-60	LD-IF (R-II)	150ml × 3

■ キットの構成

基質試液A(R-I)

N-メチル-D-グルカミン(NMG)緩衝液

L-乳酸リチウム

補酵素試液B(R-II)

 β -NAD

■ 参考基準範囲

血清:124 ~ 222 U/L

(JCCLS共用基準範囲より引用)

■ 貯法及び有効期間

2~10℃保存 製造後1ヵ年 (開封後は1ヵ月)

※使用上の注意等は添付文書をご参照下さい。



株式会社 セロテック

お問い合わせ先 (企画開発室)

〒062-0021 札幌市豊平区月寒西1条8丁目8-7

TEL 011-855-1131 FAX 050-3153-7493

E-mail:kikaku@serotec.co.jp

2102 1000